

秘

大海情第百四拾六號

波羅的艦隊一部クレート島ニ向フ

十月四日在佛國一條海軍中佐ヨリノ電報ニ依レハズアリ
ケルサム少將ハ「シソイウエリキー」ヲオスラ「ビヤ」ヲアドミラル
ナヒーモフ「ツミツリードンスユイ」ヲ率キ十月三日タンジール
登クレート島ニ向ヘリ

露國艦隊司令長官ノタンジール着

十月四日在西班牙赤羽公使ヨリノ電報ニ依レ
ハロデエスツウエンスキー司令長官ハ十月三日タンジール

0055

ルニ到署セリト云フ

明治三十七年十月五日

大本營海軍幕僚

0056

秘

大海情第四百拾七號

波羅的艦隊ノ動靜

十月五日在伯林滝川海軍大佐ヨリノ電報ニヨレハ
タンジールニ集合シタル露國艦隊ノ内驅逐艦六隻
ハ十月一日アルジールニ到着シ「モソイウエリキ」オスラビ
ヤ「アドミラルナヒーモフ」ツミツトリボンスコイ「ハフエリケルサ
ム」少將之ヲ率ヒスタ湾（クリード島）ニ向ケ十一月三日出艦
其他ハ五日ヲ「プウエルデ」ニ向ケ出發セリ（大海情第四百拾七號）
（參看）

明治三十七年十月六日 大本營海軍幕僚

秘

大海情第四百拾八號

波羅的艦隊、動靜、軍艦買収説

十月六日在佛國一條海軍中佐ヨリノ電報ニ依レハ
露國艦隊ノ全部十月五日シンヅールヲ出發セリ
又露國ハ亞爾然丁及智利ヨリ左記軍艦ヲ買入レ
タリト云フ

- 一 General Polignano
- 二 Peregudin
- 三 Komendant
- 四 Khabalovo

装甲巡洋艦七千八百三十二
 千八百九十七年進水
 装甲巡洋艦六千八百三十二
 千八百九十八年進水
 装甲巡洋艦七千二百
 千八百九十六年進水
 巡洋艦四千五百
 千九百一年進水

亞爾然丁ヨリ買入
 智利ヨリ買入

計四隻

又露國艦隊ノ行動ニ関シ十月五日林駐英公使ヨリノ
電報左ノ如シ

タンジールニ残留セル露國艦隊ハ五日朝西方ニ向ケ石
炭船ニ隻又病院船一隻(コレルナラン)ヲ伴ヒ同地ヲ出發
セリトノ報道アリタリ
アルジールヨリノロイドノ電報ニ曰ク露艦全部ハ五日出
帆セリト

明治三十七年十一月七日

大本營海軍幕僚

0059

秘

大海情第四百貳拾壹號

波羅的艦隊ノ航程

十月五日林駐英公使ヨリノ電報ニ依テ露艦「ナワール」
「ゼムチユグ」
「アルマーズ」
「スウェトラナ」
「アリヨール」ハ十一月
三日夜タンジールヲ出發セシ趣報道セラル又アルジール發
「ロイテル」電信ハ「ブレスチャーシチー」
「ベズープレーチニール」カ十一
月四日朝同地ヲ出發セシ旨ヲ報道セリ

明治三十七年十月八日

大本營海軍幕僚

0060

秘

大海情第四百貳拾貳號

波羅的艦隊ノ航程

(驅逐艦ノ
ジゼルタ着)

十月六日林駐英公使ヨリノ電報ニ依レハジゼルタ發十一
月五日付「ルター」電報ニ露國驅逐艦「ボードリー」
「フレッシュチャー
ンキー」
「ベズープレイチヌイ」ノ三隻全港ニ到着セリ

波羅的艦隊ノ動靜ニ就テ

十一月六日「ウイゴ」發せ凡井外務書記生ヨリ左ノ電報アリ

一、ウイゴニ来リシ露國艦船ニ艦載潛航艇ヲ積載スルヤ否ヤハ
確實ニ探知スルヲ得サリシモ一英人ノ言ニ依レハ潛航艇ヲ有
セスト云フ

二、アール^エニセイ^レノ如ク特種水雷沈置ノ裝置ヲ爲セル船
ハ之ヲ發見シ能ハス

三、水雷母艦ヲ有セスト雖モ運送船^アナジール^ルヲ附屬シ同船ハ
一萬噸以上ニシテ修理蒸溜及糧食供給ノ裝置アリ二十四
時間ニ淡水四百噸ヲ蒸溜シ得ヘシ

四、戰艦四隻（^ボロヂノ^フアレキサンダー三世^クニヤージスワロ^レ
^{アリ}ヨール^ナラン）ハ皆水雷防禦網ヲ有シ何モ無線電信
ノ裝置アリ^アナジール^モ亦無線電信裝置ヲ有ス
五、船體ハ黑色煙突ハ下部淡黃色上部黑色ナリ他特種
ノ識別標ナシ

六、艦隊乗組將校ハ左程事物ニ氣遣ハシキ様子ナキモ司令
長官ハ神圣過敏ニシテ激怒シ易キ風アリ

七、艦隊ノ一部ハ喜望峰ヲ干^シ一部ハ蘇士運河ヲ航過セントス
ルモノ、如シ

中立國商船ノ動靜

(トングス號
コウイクトリア號)

十月七日在上海小田ノ總領事ヨリノ電報左ノ如シ

汽船トングス號

(諸船
總數千五百噸)

ハ牛莊芝罘ヨリ香港ニ至リ

本週間若クハ次ノ週間内ニ浦塩行禁制品ヲ積込ム旨情

報アリ

又牛莊ヨリ芝罘ヘ向ヒシ汽船

ウィクトリア號

(全名ノモノ數隻アリ
其何レナルヤ詳ナラス)

ハ其積荷ヲ以テ安全ニ旅順口入港セリトノ情報アリタリ

露國ノ糧食輸送

十月七日在米國竹下海軍中佐ヨリノ電報ニ依シハ露國政
府ハ米國ニ於テ多量ノ糧食ヲ購買シ東洋ニ輸送シツヤリト

0063

露國輕氣球隊東洋派遣

九月二十六日發刊露字新聞「ワオズ、ウレー、ミヤ」に左ノ記事アリ

九月二十五日莫斯科ヨリノ來信ニ依ルハ全日里、海艦隊附輕氣球廠ノ部隊全地ヨリ聖彼得堡ヘ向テ出發セシカ右一部隊ノ司令官ハ多年外國ニ於テ斯業ノ經驗ヲ積ミタル海軍大尉ポリシェフ氏ニシテ不日波羅的艦隊ト共ニ極東ニ派遣セラルハ望ナリト云フ

明治三十七年十月八日 大本營海軍幕僚

秘

大海情第四百貳拾四號

波羅的艦隊ノ動靜

十一月七日在倫敦鋪水海軍大佐ヨリ左ノ電報アリ

波羅的艦隊ノ艦名、艦數共ニ前報ノ通り
(戰艦六隻、巡洋艦七隻、水雷艦八隻、掃雷艦九隻、其他艦艇十隻、合計艦艇四十九隻)

八隻、掃雷艦九隻、其他艦艇十隻、合計艦艇四十九隻

驅逐艦ハ七隻内六隻ハB級ニ屬ス

全艦隊驅逐艦共ニ無線電信機ヲ備付ク

船體ハ黒煙突ハ淡黃色ナリ

旗艦「クニヤ」ニ「スワロフ」ニ「ロツチエ」ストウエンスキー「オスフリーヤ」

ニ「フエリケルザム」アドミラルナヒーモフ「ニエンクウ」オスト「疎組」

工佐船「カムチヤットカ」母艦「キタイ」ナリ

義勇艦隊ノ動靜

十月八日在倫敦歸本海軍大佐ヨリノ電報ニ依リハ義勇
艦隊「ウオロネー」(?)ハ石炭糧食ヲ積ム(?)昨七
日ボスフォラスヲ通過セリ尚ホ三(?)ノ義勇艦隊ト運
送船(?)ニ隻本日(八日)通過スヘシ(大海情第四百
頁拾參號參看)

明治三十七年十月九日 大本營海軍幕僚

0066

秘

大海情第四百貳拾五號

露國太平洋第二艦隊ノ近況（其二）

宣戰ノ際ニ於ケル波羅的海艦隊ハ時恰モ海面ノ氷鎖中ニ在リシヲ以テ如何トモスル能ハス其解氷期ヲ待テ海面行動ノ自由ヲ許スニ及ヒ漸クニ回航準備ヲ初メタリ先ツ其編制トシテハ左ノ如ク發表アリ

現時絶東ノ海上ニアル艦隊ヲ太平洋海軍第一艦隊ト称シ將サニ絶東ニ派遣センカ爲メ準備中ノ各艦ヲ以テ更ニ一艦隊ヲ編制シ之ヲ太平洋第二艦隊ト称ス

一九〇四年四月十七日（邦曆三十日）

海軍元帥 アレキセイ太公

次テ五月二日ニ至リ海軍參謀部長心得海軍少將ロジェストウ

0067

エンスキーヲシテ現職ノ俟太平洋第二艦隊司令長官ヲ兼
攝セシメ固航進準備ニ関スル事務ヲ掌チラシメタリ

波羅的海本年ノ鮮氷期ニ関シテハ確カナル情報ニ接セサリ
シモ前記ノ四月三十日ハ例年同艦隊ノ就役ヲ初ムル時期ニ相
當ス故ニ新造艦艇ノ海上ニ於ケル諸運動ヲ初メタルハ五
月ニ入リテノ後ト見テ誤ナカラシ今五月以降クロンスタッド軍
港敷系泊地ニ在リ日々試運轉自差測定等ノ為メ外洋ニ出動
セシ艦艇ヲ裝キレハ左ノ如シ

艦名

摘要

要

戦艦「ラズリヤヤ」

開戦前紅海ニアリ宣戦後間モナククロンスタッドニ引返シ完
全ノ状態ニアリ

全「イムナトヤキヤ」

昨年秋前ノ工事ヲ完成シ開戦時ハクロンスタッドニ敷系泊セリ

全「ボロチーノ」

本年四月二十日彼得堡ヨリクロンスタッドニ出テ所要ノ機材ヲ整
へ八月二日試運轉ヲ施行セリ

全「アリオール」

本年五月二十日彼得堡ヨリクロンスタッドニ出テ浸水ノ変ニ遭ヒ船底ニ沈没
ニ至ントセルモ之ヲ救助シ為メ艦修工事ヲ遷延セシメタリ其竣工ノ
期ニ関シテハ確報ヲ得スト虽モ九月六日ハ皇帝ノ檢閲ヲ經タリ

0068

全 「クヤードスワロフ」
 全 「シソイウエリーキ」
 全 「ナワリーシ」
 全 「洋艦」 アウローラ
 全 「アルマーズ」
 全 「コレグ」
 全 「セムチヌーグ」
 全 「イズムルツド」
 全 「アドミラルナヒモフ」
 全 「ドミトリ・ボンスコ」
 全 「スウェートラナ」

開戦當時ハ工事ノ最モ後レタリシニ拘ラス七月下旬ハ略ホウニ成ノ状態ニアリ

別ニ著シキ工事ヲ加ヘタルヲ聞カス

全 右

開戦前紅海ニアリ宣戦後聞セナククロンスタッドニ引込ヘシ完全状態ニアリ

開戦前地中海ニアリ宣戦後聞セナククロンスタッドニ引込ヘシ完全状態ニアリ

本艦ノ工事ハ最モ後レタリ九月四日ニ彼得堡ヨリクロンスタッドニ出テ即日試運転ヲスル六日ニ白皇帝ノ檢閲ヲ經テ翌七日入渠セリ依テ本艦後

レテ十月三十日ニクロンスタッドヲ出タリタルノ報(廣川大佐ノ報)信ス(モノトス)

八月十九日ペテルブルグヨリクロンスタッドニ出テ公試運転ニ取リ掛リタリ九月五日彼得堡ニ渠ノ自不詳ニ幸フテ諸他ノ艦艇ト共ニ出發スルヲ得タリ

九月十四日ペテルブルグヨリクロンスタッドニ出テ即日試運転翌十五日入渠同十九日出發セリ本艦モセムチヌーグト同シク幸フテ諸他ノ艦艇ト共ニ出發スルヲ得タリトノ報モアリ

別ニ著シキ工事ヲ加ヘタルヲ聞カス

開戦前紅海ニアリ宣戦後聞セナククロンスタッドニ引込ヘシ完全状態ニアリ

別ニ著シキ工事ヲ加ヘタルヲ聞カス

開戦前紅海ニアリ宣戦後聞セナククロンスタッドニ引込ヘシ完全状態ニアリ

別ニ著シキ工事ヲ加ヘタルヲ聞カス

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	驅逐艦
「 レチーウキー」(同)	「 フロソリリーウキー」 (同)	「 ホドウキー」(同)	「 フロンジーネリヌイ」 (三ノ電)	「 ポーバルイ」(同)	「 デスラフレイネヌイ」(同)	「 ビキドウキー」(同)	「 フイストルイ」(同)	「 ブレスキヤスチ」(同)	「 ブラウキー」(同)	「 フイヌイ」(五ノ電)
				七月二十日入渠 同二十七日出渠	同	同	七月十五日入渠 同二十七日出渠	同	七月二十日入渠 同二十七日出渠	七月十五日入渠 同二十七日出渠

此七隻ハ何レモ開戦前紅海ニアリ宣戦後
クロンスタッドニ引返ヘシ完全ノ状態ニ在ルヲ
ナリ今面戦闘ノ結果ニ鑑シ砲熕ニ大改良事
シカヘタリトノ報アリ
何レモ七八月中クロンスタッドヨリ外海ニ出動シタリ

此等モ七八月中クロンスタッドヨリ外海ニ出動セリ
滝村大佐ノ報ニヨリハ此中東洋回航ノ途ニ上リタル
如ク見ヘシモ其後全官ノ報ヨリ此種ノ艦ハ其
中ニアラサルコトヲ確メタリ

以上ノ外鮮永期以後クロンスタッド軍港ヨリ外洋ニ出動セシ軍艦

0070

ハ戦艦ヲニコライ一世其他海防艦駆逐艦水雷艦アリト雖モ何
レモ明カニ特別ノ任務カ(各種ノ練習艦防禦艦隊)ヲ有スルモノナリ
十月十二日ニレーウエリヲ出發シタル「ロヂエストウエンスキー」艦隊ノ
編制ニ就テハ報告區々ニシテ相致セサリシモハル事件以來艦
隊ノ行動ニ照ラン推察スルトキハ前記戦艦七隻ハ洋艦八隻
駆逐艦七隻其他後装洋艦運送船工作船病院船ヨリ
成ルモノト思ハル

一、後装洋艦ハ義勇艦隊ノ「ポテルブルグ」「スモーレンスク」ヲ武
装シタルモノ(十月二十五日勅令ヲ以テ「ドニテブル」ニ七月二十五日勅令
ニテ汽船「ドン」「ウラル」「テレツク」「クーバン」ヲ洋艦籍ニ編入
シ此四隻ハ何レモ獨國ヨリ購入ノ高速度汽船)ヲ加ヘ計六隻トナ
ト諸情報ノ大抵一致スル所ナリ其武裝ノ詳細ニ至リテハ未
タ何等確報ヲ得スト虽モ義勇艦隊ノ汽船ニ裝備ニキ

三

0071

規定ノ十二冊及十二所速射砲合計十五門ト見テ大差ナカ
ラン

一、運送船ハ解氷期以後艦装中ノ艦隊附属運送船カ
ムチヤットカレヲ完成セシメタル外七月中東亞汽船會社
汽船、北海汽船會社等ノ汽船ヲ徵發シテ工事ヲ施シ又
同月二十五日ノ勅令ニテ「イルツイレユ」「アサツイリ」「アルグニ
等ノ外國購入船ヲ運送船ニ編入ス今此等ノ諸船ヲ列
裝手スレハ左ノ如シ

東亞汽船會社	コレヤレ	総出数	六一六三	水雷母艦「スロイ」式海上採炭機ヲ取付
同	「キータイ」	同	四六六〇	水雷母艦「スペンサー」式海上採炭機ヲ取付
同	「マライヤ」	同	四八四七	同
北海汽船會社	「シヤンタコフ」	同	三八八二	「スペンサー」式海上採炭機ヲ取付
不詳	「エニセイ」	不詳	(外國購入改修船名録ニナシ)	同

0072

海軍 運送船	「アナツイリ」	(佛國ヨリ購入ノ) 「Panche Comet」
同	「オーケア」	排水量 一、八九七
同	「イルツキウ」	(獨國ヨリ購入ノ) 「Belgie」 総排水量 五、五五五
同	「アルグー」	不詳 (外國ヨリ購入ノ改名) 排水量 七、二〇七
同	「ハバロフ」	舊義勇隊ヲ海軍省ニ買上 ケモノ 排水量 二、七六〇
同	「カムチャツカ」	排水量 七、二〇七

同 右
艦隊修理糧食供給ノ措置ヲ有ス

艦隊付属工作船

露國新聞ノ報スル所ニ依ルハ以上ハ何レモ七月ヨリ八月ニ亘リ
クロシタツドニ於テ小工事ヲ施シツアリシモノナリ今因諸情報
ノ出發艦船中何レモ右ノ船名アルヲ以テ見ルトキハ其事實ナル
ヲ知ル可シ但シ公使及公使館附武官ノ報告中一モ「ハバロフ」
スクレ及「エニセイ」ノ名ヲ見サレハ或ハ同船ハ因航セサルヤノ疑ヲ存
ス又最近ノ報ニ依ルハ「メテオル」及「フェル」ナリ(獨逸船)モ艦隊ニ

隨伴スルカ如レ而シテ右ノ中「カムサツカ」ハ八月二十日ノ勅令ニ依リ
太平洋第二艦隊付屬工船ト定メラレタリ

諸公使ノ報告ニアル如ク碎氷船ヲ伴ヒ来ルトセハ當然「エル

マーク」ナラン
以上ノ運送船即チ特務船ハ何モ海軍運送船ニ準シ各十二所砲
五門四七リ砲六門若クハ單ニ四七リ砲六門ヲ搭載スルモノト推察セ

ル

情報ニ依リ露國ハ獨逸「ロイド」社汽船「ライン」ヲ購入シ潛航
艇及輕氣球ヲ搭載シ東洋ニ向ケ出發セシムヘト云フ

此外諸情報ノ示スカ如ク運炭船ハ中立國上商船ノ多數
ヲ傭フテ各所ニ配置シアリ（在東洋及東洋回航中ニアル中立國

商船所在表參看）

病院船ハ三橋公使ノ報告ニ示スカ如ク「佛國」ツロワンニ於
テ赤十字社病院船トシテ艦装セル義勇船隊ノ「アリョー
ルト」ノ二十リト認ム

0074

國海方面に在テハ義勇艦隊汽船「タンボフ」コストラマ「ウオル
ム」ジ「ウラジシル」キーエフ「ヤロスラフ」ニ「ジニー」ノ「ヴゴロド」
「ガラト」ノ八隻及露國航業貿易會社汽船「メルクル」ジ
「ムロチル」ハ「ラルダ」ノ三隻ハ出港準備ヲ完了シ「オデッサ」在
リシカ其内「メテオル」ハ九月二十五日海峽ヲ通過セシカ如ク「ニ
ジ」ハ「ヴゴロド」ハ同二十六日「ヤロスラフ」ウ「オロネー」ハ十一月六
日頃海峽ヲ通過シ「クリート」島ニ向ヘリトノ報アリ
要スルニ今回回航中ニ在ル太平洋第一艦隊ノ戰艦七隻中
新造艦ノ「オスリヤビヤ」イムペラートル「アレキサンドル」サ第三世ハ開戦
際既ニ完成ノ状態ニアリ既成艦ノ「ナワリン」ミ「ソイウエリーキ」
ハ別ニ大ナル工事ヲ加フルニ及ハストスレハ残り「ボロヂー」ノ「アリ
ヨール」クニ「ヤレ」ス「ワロフ」ノ三艦ノ「ニ」至急工事ヲ施シタルモノニ
シテ其海上ニ於ケル試運転ニ費ヤレタル時日ハ鮮永期五月一日

ト見積リ^レエリ^レ出^ル十月十二日マテ四ヶ月有餘ノ時日ヲ充
テタルコトナリ（アリヨルヲ除キ）強チ不完全ナル急工事ヲ
以テ満足シタルモノト判断スルヲ得ス但レ此洋艦ニ至テハ「アウロ
トラ」アルマーズ及既成艦ヲ除ク外ハ概シテ艦装工事後
シ^レ海^上試運転ニ費ヤセシ時日僅少ナルヲ看アリ殊ニ「オレ
ノ如キ後^レ出^ルタルノ報サヘアルハ新造ノ此洋艦ハ或ハ完全
ナル工事ヲ施シタルモノニアラサルヘキカ

前記艦隊ハ十月十二日ニリバウヲ^レ出^ル十七日ヨリ二十日ニ^レ百リ
前後シテ丁抹海峡ヲ通過シ何モ英吉利海峡ニ入りタリ此中
戦闘艦隊ト見ルモノハ二十日午前一時ニ於テ同海峡通航ノ際
所謂ハル事件ヲ惹起シ駆逐艦隊ハ別ニ行動シテ二十四日ニ
佛國^{シエルポール}ニ入港セリ

次テハル事件ニ關係セン戦闘艦ハ一旦西班牙ノウイゴニ集

リ關係ナキル餘ノ艦船ハウイゴヲ經テタンジールニ集ホリシカ
其後英露間ノ交渉緒ニ就キタルニ及ヒ十一月一日ニウイゴヲ發
シタンジールニ集マリ夫レヨリ司令官フェリケルガム少將ノ率テ元
一隊ハ分レテ地中海ニ入リ驅逐艦ハ二十四日運送船ト共ニシテ
ブルヨリ直チニアルジールニ向ヒ目下地中海ニアリ
各艦船ノ所在ヲ諸種情報ニ據リ綜合スルニ別表ノ如シ

明治三十七年十月九日

大本營海軍幕僚

東航露國艦隊所在表

第一

明治三十七年十月八日
正午調

艦種	艦名
戦艦	オスラービヤ
全	レソイウエリーキー
巡洋艦	アドミラルナヒーモフ
全	ツモツワドンスコイ
戦艦	ナワリーシ
巡洋艦	ゼムチユーク
全	アルマーズ
全	スウエトラナ
病院船	アリヨール
戦艦	壁山三世
全	アリヨール

十月三日タシロル出港クリート島ニ
向フズエリケリガム少将之ヲ送テ

十月三日夜タシロル出港行先不明

0078

戦艦 全 運送船 病院船 駆逐艦 全 全 全

クニヤルジスワロフ

ボロヂノ

二隻

一隻

ボードルイ

プレスチャールズ

ベズブレーチヌイ

アイヌイ

ブラウイー

ブードウイー

バーストリー

四隻

十月五日アルゼール出港

十月五日ビゼルト着港

十月五日タンジール出港
ケープウェルド
ニ向フロゼストウエンスキー之ヲ率ユ

運送船「キタイ」「コレア」ハ本駆逐艦ト共ニ行動スルモノセリ
黒海ヨリ出テタル「ニーニノウゴド」「ヤロスラフ」「ウオロネー」
「ジハクリート島」ニアルカク其他運送船若干隻ハ所在不詳

0079

露國太平洋海軍第二艦隊職員

太平洋海軍第二艦隊

司令長官 海軍少將

ワツヂエ
(旗艦 スウエンスキー)

先任

参謀

海軍少佐

クラビエ
(デ、コロング)
(以下各々音後条)

参謀

(對艦) 海軍大尉

スウエントルジェツキー

同

同

スウエルバーエフ

同

同

クルビツア子ウスキー

同

同

ノーウガレリツオフ

同

海軍少尉

ツエレテリ

同

同

デムチンスキー

航海士官

海軍中佐

デ、リーウロン

同

専科大佐

フヒリポウスキー

同

専科中佐

オレ、ポフ

砲術士官

海軍中佐

ク、ローシ

同

専科中佐

ベルセ、子フ

水雷士官

海軍中佐

マケドンスキー

0080

水雷士官 海軍大尉 ラオンチエフ

機関官 機関中監 オブノルスキー

造船官 造船大技士 レベデフ

経理官 海軍中佐 フオンウヰツテ

主理 海軍大尉 フオン、レウリツ

太平洋海軍第二艦隊

司令官 海軍少将 エンクウオースト(海軍少将)

参謀 海軍大尉 フオン、テンシ(参謀)

同 同 ザリン

太平洋海軍第二艦隊

司令官 海軍少将 フオン、フエリケル(海軍少将)

参謀 海軍大尉 コレンスキー

同 海軍少尉 リーウエン

太平洋海軍第二艦隊

司令官 海軍大佐 ラドロフ

参謀 海軍大尉 コンスタンチノフ

同 海軍少尉 ベルテンソン

秘

大海情第四百貳拾七號

波羅的艦隊ノ動靜

十月八日在倫敦鎔木海軍大佐ヨリノ電報ニ依ルニ蘇士運河ヲ通航スヘキ波羅的艦隊ノ艦船ハ左ノ如シ

戰艦(二隻)

「レソイウエリキー」

「ナワールリン」

「洋艦(三隻)」

「クエドラーナ」

「ゼムチエグ」

「アルマーズ」

駆逐艦(七隻)

「ボードルイ」

「ベズウプレーチヌイ」

「ブレスチヤ」

「スチー」

「フイストルイ」

「ビエードウサ」

「ブイヌイ」

「フリーウイ」

義勇艦隊(二隻)

「ヤロスラーフ」

「ウオロネー」

運送船(一隻)

「キタイ」

以上目下地中海ニ在リ

又喜望山峯通航ノ艦船ハ

戦艦(五隻)

「クニヤージスワロフ」

「アリヨール」 「アレキサシダー」

「ミセ」 「ボロヂノ」

「オスラービヤ」

洋艦(三隻)

「アドミラルナヒーモフ」

「ツェツリードンスコイ」

「アウローラ」

工作船(一隻)

「カムチヤツトカ」

運送船(四隻)

「コレア」 「マライヤ」

「アナレール」 「メテヨル」

病院船(一隻)

「アリヨール」

以上ハ十月五日シンジール解纜

尚早波羅的海リ左ノ艦船追蹙ス

洋艦(三隻)

「オレグ」 「イズムルード」

驅逐艦(五隻)

補助洋艦(六隻)

「ドン」 「ウフル」 「テレク」 「クバン」 「リオン」 (旧「スベ」)

運送船(三隻)

「ドニエプル」(旧「ブルゲル」)
「イルティツレユ」
「アルガン」
「クニヤージ」
「ガルチャコフ」

猶ホ目下黒海ヨリ追々聯合ス(キ船舶ハ左ノ如シ)
義勇艦隊(四隻)「サラトーフ」
「キーエフ」
「タンボフ」

運送船(六隻)

「ウラジミール」
「メルクリヤ」(総屯数 四四六屯)
「ジュピター」(総屯数 三九七屯)
「オデッサ」(総屯数 四六三屯)

以上貿易航業會社汽船

「ハロンドリエツセン」(総屯数 四八五屯)
「ヘルマンレユ」(総屯数 三三三屯)

以上北海汽船會社汽船

「スラバロツシ」(屯数不詳外國ヨリ購入ノモノヲ改名シタルモノナラン)

露國ノ行動ニ就テ

十月九日在倫敦鏑木海軍大佐ヨリ電報左ノ如シ

露國皇帝ハ私財四千萬圓ヲ海軍ニ支出ス

聞ク所ニヨレハ石炭十萬噸ヲ十月マテ浦塩斯德(因送ノ契約

當地ニ於テ成立シタリト

又露國ハ智利及亞爾然丁國ヨリ軍艦購入ノ交渉整ヒタリト云フ

(大海情第四百
拾八號參考)

明治三十七年十月十日

大本營海軍幕僚

訂正

大海情第四百貳拾四號「波羅的艦隊ノ動靜」中「驅逐艦七隻」ノ下「内六隻ハ」四字ヲ削除ス

秘

大海情第四百貳拾八號

碎氷船「エルマーク」ノ損傷

十月九日在伯林灣川海軍大佐ヨリ左ノ電報アリ

波羅的艦隊下抹國海峽通過ノ際航路保安ノ爲メ掃海ヲ
行ヒタル結果「エルマーク」ハ損所ヲ生シキールニ六日(マ)入港全
船ハ歸國スヘト云フ

露國參謀本部ト日本新聞通信員

十月八日在ストックホルム明石歩兵大佐ヨリ電報ノ一紙即ニ
曰ク露國參謀本部ニテハ近頃在日本新聞通信員ヨリ有力

0086

ナル報告ヲ得タル由

露國傭入運炭船ノ動靜 (「ラスエルバ」號)

十月九日在新嘉坡田中領事ヨリノ電報ニ依リ運炭船 *Ras Elba* 號ハアストリアニ向フト稱レ十月九日ヲブアンヲ出帆セリ

孟買露商ノ汽船買入

十月九日在孟買林領事ヨリノ電報ニ曰ク汽船 *King Arthur* 號 (英船) ニカラニ船名數 ハハ斤頃上海露商 *Messrs. J. & C. Co.* 當地代理店之ヲ買入シ穀粉萬二千四噸ヲ積ビ十月八日牛莊向ケ孟買ヲ出帆セリ右穀粉ハ旅順要塞ニ輸送サルモト疑フキナカナル形跡アリ

明治三十七年十月十日

大本營海軍幕僚

0087

秘

大正十一年四月廿九號

クリート島ニ於ケル露國ノ設備

十月九日牧野駐埃公使ヨリノ電報ニ依テ君斯坦丁堡ヨ
リノ報ニ露國ハクリート島ニチモ (Belinas) ニ海軍用ノ倉
庫ヲ設備シ軍用機械彈藥石炭等ヲ蓄積シ艦隊
ニ供給スル趣ニシテ既ニ過般來人目ニ立タヌ様汽船ヲ密ニ
前記ノ物ヲ同所運ヒ居リト云フ昨今海峡通過ノ義勇艦
隊モ右レチモニ向フトノコトナリ汽船「ヤロスラフ」號ハ石炭二千六百
噸「ウオロネー」號ハ三千三百噸ヲ搭載シ居リト云フ

露國黒海海軍ノ出動

九月二十三日セウストポリヲ發刊「クルイムスキー、ウエスツニク」新

聞ニ左ノ記事アリ

黒海海軍司令長官チフミン中將、常備艦隊司令長官クリー
ゲル中將、練習員分艦隊司令官ピサレフスキー少將及常備艦隊
司令官ウネレウエスキー少將ハ左記ノ艦艇ヲ以テ艦隊ヲ編制
シ九月二十三日セウストポリヲ出港セリ

戦艦(五隻)「ロスチスラフ」海軍司令長官「オオギョボドノセツ」常備艦隊司令長官
「オシロフ」練習員分艦隊司令官

「ツリースウヤチーテリヤ」
「エカテリーナ二世」

「チエスマ」

「洋艦(一隻)」「バーニヤチ、メルクーリヤ」

水雷砲艦(二隻)「グリーデニ」
「カザルスキー」

砲艦(一隻)「ウラレーツ」

練習艦

(六隻)「フルーツ」

練習艦隊司令官

「ツネスツル」

「ヘリヨーザニ」

「ツナナイ」

常備艦隊司令官

「ブーク」

「コネーツ」

駆逐艦

(五隻)「スメツリーウイ」

「スウサレープイ」

「ストローギ」

「ガウキーツヌイ」

「サウエーツヌイ」

水雷艦

(十五隻)

「ニ五二號」

「ニ五三號」

「ニ五六號」

「ニ五八號」

「ニ五九號」

「ニ六一號」

「ニ六二號」

「ニ六三號」

「ニ六五號」

「ニ六六號」

「ニ六七號」

「ニ六八號」

「ニ七一號」

「ニ七二號」

「ニ七三號」

0090

明治三十七年十月十日

大本營海軍幕僚

0091

秘
大海情第四百参拾号

東航露國艦船ノ動靜

十月十日在倫敦鎔水海軍大佐ヨリ左ノ電報アリ

露國驅逐艦五隻十月九日夜丁抹海峡ヲ通過ス

運送船「キヤロニゴル」キタイ「義勇艦隊汽船」ウロネーシ「ヤロスラーフ

（大海情第四百）獨逸商船「テレヌクリート」島ス夕湾ニ到着

義勇艦隊汽船「ウラジミール」ハダーダネルスヲ通過セリ

潜航艦「フルトン」ハ浦塩ヘ積出サル

0092

義勇艦隊海峡通過
十月十日牧野駐埃公使ヨリノ電報ニ依リハ義勇艦隊汽
船タムボフ號ハ十月九日全キエフニ歸ハ十月十日何レモボ
ボラス海峡ヲ通過セリ

0093

東航露國艦隊ノ給炭船

十月十日伯林発横濱「ジャパン・ポスト」新聞社へ入電云
 レハ波羅的艦隊ニ石炭供給ノ為メ隨航スル英國運炭船
 ハ左記十三隻ナリト

船名	信號符字	總噸數
一、Rindemann	K N W C	二、三七八
二、Tennistadale	T N B W	三、八四七
三、Jakobson	V L S H	三、五六九
四、Adeblow	T M V F	四、二九二
五、Lorway	S D N T	四、〇〇三
六、Stewartby	V M N R	四、一八八
七、Norwegian Stead	J F H N	一、八八〇
八、Saint Leonard	P W G J	四、二四九

0094

九	Saint Nicholas	S P a v	三	五	八	八
一〇	Meddo	S Q N L	四	五	六	三
一一	Stensdale	T Q P F	二	七	五	二
一二	William Starks	N B D M	三	六	二	三
一三	Oceanus	K Q J R	六	六	一	〇

明治三十七年十一月廿日
大本営海軍幕僚

秘

大海情第四百參拾壹號

東航露國艦船ノ動靜

十月十日林駐英公使ヨリノ電報ニ依ル十月九日
附ロイテル電信左ノ如シ

露國驅逐艦「ベズプローチヌイ」「フイストルイ」「ブレスチ
ヤスチー」「ビエードウイ」「ブラーウイ」「ホードルイ」「フイ
ヌイ」ノ七隻ハ巡洋艦「スウエトラナ」ト共ニクリート島
スダ湾ニ着セリ

運送船「クニヤ」
隻ハ石炭ヲ搭載シテ全地ニ在リ
又獨逸運送船「テレーズ」「ホルン」ノ二隻又ハカーチフヨ
リスダ湾ニ着シタリ
（大海情第四百參拾號參看）

義勇艦隊汽船ヲタムボフハ貨物ヲ滿載シテ九月
後ボスホラス海峡ヲ通ル(高)セリ(大海情第百
又ラスハルマスニ於ケル四隻又ノ獨逸船ハ波羅的艦
隊ニ兵糧ヲ供給スルノ目的ヲ有スルモノナリト云フ

明治三十七年十月十日 大本營海軍幕僚

秘

大海情第四百拾貳號

露國外國軍艦買入、軍令部將官、米國派遣

十月十日在米國々下海軍中佐ヨリノ電報ニ依リハ露國政府ハ

一億六百萬留ヲ支出シテ智利及亞爾然丁國ヨリ軍艦六隻買

入ノ談判中ナリト

(大海情第四百
貳拾七號本項參看)

又露國ハ軍令部、將官ヲ米國ニ派遣シ目下石炭其他兵備

品買入中ナリ

波羅的艦隊ノ一部ハクリート島ニ到着セリ

0098

東航露國艦船ノ動靜

(フエリケルガム司令官ノス列灣着)

十月十日林駐英公使ヨリ左ノ電報アリ

十月十日附「ルーダー」電報ニ依ルハ「フエリケルガム」海軍少將旗艦「シソイウエリキー」及「ナワリーシ」アルマーズ「イズムルード」(ゼム、ケエーグ)ノ誤ラシニ並ニ義勇艦隊汽船「ヤロスラーフ」獨逸「運送船」ヘルシリア(總電數ニテハハクリート島ス列灣ニ着セリ)

義勇艦隊汽船「キーエフ」ハ十月十日ボスフォラス海峡ヲ通過セ

リ(大海情第百四十一卷拾第參卷)

アレキセーフハ十月十日露都ニ到着セリ

明治三十七年十月十二日 大本營海軍幕僚

0099

秘

大海情第四百參拾參號

東航露國艦隊ノ動靜

(ヲ抹水先人情報)

十月十日在海口三橋公使ヨリノ電報ニ依レハ波羅的艦隊
ノ丁抹海上航行中旗艦及「アドミラル・ナヒーモフ」ノ水先案内
ヲナセル二名ノ丁抹水先人ヨリ左ノ情報ヲ得タリ

一、水先人ノ見ル所ヲ以テスレハ何レノ艦モ艦内ニ潛航艇ヲ搭載セ
サルモノト思ハレ

二、汽船「ボカウ」(Bocau) 露國海軍運送船 (Bocau) ハ五噸一八六六年建造 ハ水雷敷設船
タランモ知ルヘカラスト雖モ其餘ハ何船モ水雷敷設船ノ如キモ
ノト見エサリシ

三、何船モ丁抹ニ於テ見ラル、如キ水雷母艦ノ構造ヲレキモノヲ有
セス

四、戰艦及大形巡洋艦ハ何レモ無線電信裝置及水雷防禦網ヲ備フ

五、各艦濃紫色ニ塗レリ其餘ハ各艦構造型式ニテ識別スルノ外ニ特標ナレ

六、司令長官以下將校何レモ神經過敏ナリ又兵員ハ新參ノモノ多ク何レモ搔キ集メ者ト思ハル

(大海情第四百廿四頁詳參者)

上海ニ於ケル汽船ゲリソクノ動靜

上月十日在上海小田切總領事ヨリノ電報ニ依リ十月二十六日全地ニ入港ノゲリソクノ歸ニテ輸入セラルタル雷管十二函信管五十函ハ港外ニテ他船ニ移シ青島ニ送ラレタリ右ハ鑛山用ノモノナリト云フ

明治三十七年十月十二日

大本營海軍幕僚



大海情第四百参拾五號

東航露國艦船ノ行動

十月十二日在伯林渡川海軍大佐ヨリノ電報ニ依レハフメリケルガム
司令官ノ率ユル艦隊四隻又驅逐艦八隻(從來ノ情報ニ七隻又トアリ
ト露國官報ニ依リ
確メ得タリト)運送船一隻ハ十月十日ワリート島スガ湾ニ到

著セリト云フ(大海情第四百
参拾四號參看)

又糧食石炭補充ノ目的ヲ以テ右艦隊ニ聯合センカ為メ黑海
ヲ出テタル義勇艦隊ハ本日マテノ處ニテハ「キーエフ」ヤロスラ
ー「ウラジミール」タムボフ「ウオロネージ」五隻又ナリト

其二

十月十二日在倫敦鎬木海軍大佐ヨリノ電報ニヨリ露國艦隊
ノ石炭補充船ハ左ノ如シ

Wearmouth

(英船) 総噸数 一、〇二〇ト

Royalist

(英船) 総噸数 三、一八〇ト

以上二隻ハ十月十六日カーゲヲ鮮纜セリ途上馬
尼刺、新嘉坡ニ寄港ノ旨

Grand Antares

(英船) 総噸数 四、二六九ト

十一月五日バレン

(呂宋ノ南西端)ニ向ケ出港

Thetis

(諸國船) 総噸数 一、八〇三ト

十一月十日上海ニ向ケ出港

Dauntless

(英船) 総噸数 三、六三三ト

十一月二日ペリム通航上海ニ向フ

諸國船

(不詳)

十一月十日香港ニ向ケ出港

英國船 *Proctor* (不詳)

大海情第四百參拾七號

東航露國艦隊一部ノタカール着

十月十三日在佛國一條海軍中佐ヨリノ電報ニ依リハ露國艦隊ノ
一部軍艦九隻運送船七隻十月十三日午前タカール(佛領西貢弗利加
ニ着港石炭積込次第出港ノ旨ナリト

其二

十月十三日在伯林境川海軍大佐ヨリノ電報ニ依リハ露國艦隊
ノ本隊ハ十二日タカールニ到着シタリト云フ

明治三十七年十月十四日

大本營海軍幕僚

0105

秘

大海情第四百參拾八號

東航露國艦隊ニ關シ佛字新聞ノ所報

在佛國一條海軍中佐ヨリ十月四日附報告ノ要領

露國波羅的海艦隊ノ東航問題ニ關シテハ各種ノ論說新聞紙上現ハ
レサルコトナキ有様ナルカ最近發刊ノゴロヨリ新聞所載ノ記事左如
艦隊ノ東洋向テ出發ノ有無ニ關スル露國ヨリノ報道ハ區々ニシテ
其真相ヲ確ムルヲ得スト雖モ吾人見ル所ニ依リ艦隊ハ必ズ出
發スヘキモノ、如レ勿論其ノ二三隻ハ尚ホ艦隊ト共ニ出航シ能ハル
モノアルモ僅々六ヶ月ノ短期間ニ露國政府ク歐洲ニ於ケル其海軍力
ヲ甚ク減殺スルコトナクシテ一個ノ強大ナル東洋艦隊ヲ編制シ得
タルハ非常ノ成功ト謂ハサルハカラス殊ニ其艦船ノ多クハ何モ本
年ノ初期ニ工事ヲ竣リシモノナルニ於テオヤ

0106

八月十日及全十四日ノ海戦ニ由リ露國ノ戦艦一隻及洋艦五隻
及数多ノ驅逐艦ヲ失ヒシヲ以テ最初指定セラレタル派遣艦
ニ更ニ数隻ヲ加ヘタリ

即チ増加ハ分ハ戦艦復次ニ防護洋艦補充ノ為メ獨逸ヨリ
買入ラル大商船三隻(速力二三海里)及「ペテルブルグ」型ノ假
装洋艦四隻乃至五隻トス左ハ八月八日クロンスタッドニ於テ
露帝ノ檢閲ヲ受ケ全士目見セストウエンスキー少將指揮ノ下ニ出
航セル艦隊ノ編制ハ左ノ如シ

一、戦艦六隻ヲ二個分艦隊トシ第一分艦隊ハ司令長官ノ直接指
揮下ニ属シ「クニャビスワラ」旗艦「ボロヂノ」歴山三世ノ三
艦ヨリ成ル「アリヨール」モ亦之ト同型式ノ良艦ナルカ試運轉
ノ際誤テ損傷シ全分艦隊ト全航セルヲ得サリ不日之ニ加
ルヲ得ヘレ

第二分艦隊ハフエリケルサムルヲ将之ヲ指揮シ「オスラービヤ」
(旗艦)「ナットリン」レソイウキーノ三艦ヨリ成ル

二、装甲艦ハ「アドミラルティ」モ「ツリ」ドンスコイノ二隻又ニ
「モドル」ラゲオノフ之ヲ指揮ス

三、防護艦ハ「エンクイスト」ヲ将之ヲ指揮ス何モ近時ノ建
造ニ係リ其武装亦完全ナリ尤モ今回「ウンスク」ト出タノ
際ハ「アルマーズ」アウローフ「スウェートライナ」ノ三隻又ナリキ

又近頃武装ニ著手セル「オレグ」イ「スルード」セ「タウ」ノ三艦モ
分艦隊ニカニヲ導ヘク其他獨逸ヨリ購セル大商船三隻及義
勇艦隊汽船數隻又モ亦充分武装ヲ為シタル上之ニカハルヲ得
ヘシ

駆逐艦「ブルヌイ」(「ブイヌイ」)「ブイストル」ビ「エドウ」ノ「ボート」
ル「バズ」ノ「ブレイ」チ「ブレスチャー」シ「モ」亦艦隊ニ從フシ

要スルニ東洋ニ於ケル露國ノ兵力ニ對シ更ニ重大ナル勢力援ヲ
 獎ツヘキニストウエシスキー艦隊ハ戰艦七隻（アリョールヲ除ク）懷
 甲川洋艦二隻又防護艦洋艦六隻假裝艦洋艦七乃至八隻驅逐
 艦五隻又ヨリ成ルモノナリ而シテ之ヲ率テ總指揮官ノ適任
 者タルコトハ衆人ノ認ムル所ニシテ其艦隊ハ已ニ數ケ月未元分
 ナル訓練ヲ遂ケタルモノ如レ然レトモ只一缺點トモ謂フキハ
 艦隊均一ナラサルコト是ナリ
 艦隊愈々出發ノ曉ニ必ス小東方ニテ進行スル露國政
 府ハ其東洋到着期ヲ三月ト計算セルハ蓋シ至當ナルヘシ
 而シテ其航路ニ就テハ吾人ハ何レ點ヲ見ルモ如斯大艦隊カ如
 此大航海ヲ為スニ當リ喜望峯若クハケーポホルンヲチ固スルノ
 利益アルヘト信ス能ハス左ハ蘇オノ航路ハ露國ノ供給ヲ受ル
 而取モ利便ナルニテラス是裏ニウイレマス艦隊ニ從ヒ戰貨船シタ量

ノ石灰ヲデブリチニ遺シタルヲ以テ之ヲ利用シ得ヘキ便アリ
旁以テ艦隊ノ取ルキ航路ハ蘇士ノ外之ナリト確信ス

露都モ通信ニ依テ波羅的艦隊ハ愈々東洋へ向テウエールヲ出
スルハ十月中旬ヲフントノ説頗ル盛ナリ露帝ハ十月四日ウエールニ
臨幸シ艦隊ノ出発ヲ見送ラルハ各々ナリト又驅逐艦「レスウイー」
「ゾルリウイー」
「フロージネリニー」
「グロージニー」
「クロムキー」ノ五隻モ
全艦隊ニ加ヘラレタリト云フ

過日來地中海及蘇士附近ヲ巡航セシ義勇艦隊汽船「スモレン
ス」及「ペテルブルグ」ハ十月二日アルゼーブルヲ出發シレウエールニ向ヒシ
由ナルカ是又艦隊ニ從ヒ東航スヘリト云フ

露國政府カ目下艦船買入或ハ其注文ヲ努メツアルハ爭フヘカラス事
實ナルカ此頃又聞ク所ニ據ルハ同政府ハ佛國地中海鑄鐵造

船會社ニ最近式ノ駆逐艦十一隻ヲ注文シ其内四隻ハ
グニ造船所ニ於テ四隻ハハルマン造船所ニ於テ其餘ノ三隻
ハエーヌ造船所ニ於テ製造スヘク其竣工期限ハ十五ヶ月ナリ
ト此他尚ホバヤーン型ノ洋艦四隻ノ注文相談中ナリト云

明治三十七年十月十四日

大本營海軍幕僚

0111